

JIM-NET 便り

2022 10 月号

発行：2022年10月30日



特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4丁目4番11号 内藤ビル2C
電話 03-6228-0746 メール info-jim@jim-net.net



母が教えてくれた「半分このみかん」

だれでも自分のために生きるのは当たり前のこと。けれど、1%でいいから、だれかのために力を尽くすことができれば、世界はもっと生きやすくなるのではないのでしょうか。1%には大きな可能性があると思ってきました。



鎌田實 (JIM-NET 代表)

◎生きたお金の使い方

Facebook の創業者マーク・ザッカーバーグは結婚して初めての子もができた時、妻と共に保有する Facebook の株 99% を、教育や医療に寄付すると決めました。これは当時で 5 兆円という巨額に相当します。

彼は、誕生した長女にこんな手紙を書きました。

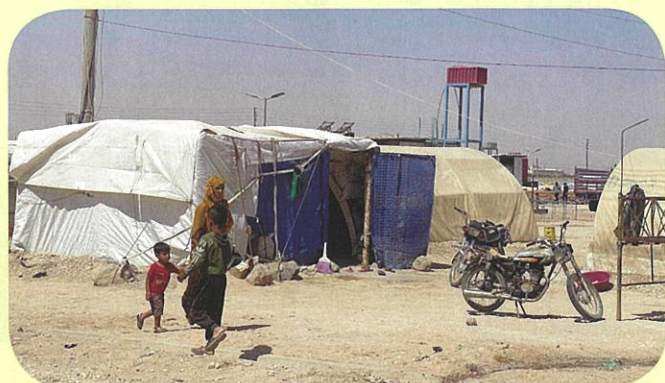
「我々の世代は世界の貧困と飢えをなくせるだろうか。正しく投資を行えば、あなたの一生のうちに答えはイエスになる」

娘一人に巨額のお金を残すのではなく、娘の世代のため、世界の未来のためにお金を使うと決めたのです。

「寄付の本当の目的は節税対策だ」という非難の声もありましたが、ぼくはこのニュースを聞いたとき、とても感動しました。生きたお金の使い方をしているな、と思ったのです。

◎難民キャンプで出会った医学生

ザッカーバーグとは比べものになりませんが、ぼくも「寄付」というお金の使い方に関心をもっています。



イラクの難民キャンプ

これまでも一部の本の印税や、テレビCMの出演料を、イラクの病気の子どものために寄付してきました。

イラクの難民キャンプで、病気を抱えている人たちの薬の名前をすべて覚えている若い女性に出会いました。事情を聞くと、イラク北部のモスルで医学部に通っていましたが、ヤジディ教徒であったため、過激派組織「イスラム国」に脅迫され、逃げてきたそうです。医師になる夢はあきらめかけていました。

ぼくは、クルド自治区の医学部への編入試験に合格したら、授業料を応援すると約束しました。彼女は難民キャンプで勉強を続け、見事、編入試験をパス。医学部を卒業して医師になりました。数年前のことです。

今まで、釜ヶ崎のドヤ街に住む二人の若者の大学の授業料も、出させてもらいました。自分が貧乏の中で、大学に行けた幸運のお返しをしたかったのです。

◎みかんを半分こ、分け合う

「99%を自分のために生きて、1%はだれかのために生きる」

ぼくがそう思うようになったのは、育ての母の影響があったように思います。母は重い心臓病を抱え、父はその入院費用を工面するために夜中まで働いていました。

寡黙で怖い父と違って、母はおしゃべりで人の世話を焼くのが大好きでした。バスに乗ると隣の席の人に話しかけます。だれとでもすぐに仲良くなるのです。



おいしいおやつ時間

そして、カバンのなかにみかんがあったりすると、それを半分にして、「これ、あとで食べて」などと手渡すのです。残

りの半分は、ぼくに。貧乏な長屋住まいでしたが、心の温かい人でした。小学生くらいだったぼくは、これがとても恥ずかしかった。どうせあげるなら、みかん1個あげたらいいのに、とっていました。

永六輔さんのラジオ番組で、「自分の住んでいた街を歩く」という企画の生放送に出演しました。杉並の妙法寺の門前町を歩いていると、「ミノルちゃん…」と、和菓子屋さんのおかみさんから声をかけられました。40年ほど時が経ち、母を知る人に会いました。

「お母さんにはお世話になりました。私が嫁に来てとても寂しい思いをしたり、辛い思いをしているとき、いつもお母さんが優しく声をかけてくれたんです。お母さんは偉大な人でした」

偉大な人。意外な言葉でした。小学校しか出ていない人でしたが、人として素敵なお人でした。この人にもらってもらい、この人に育てられたことは、幸運だったと思います。自分は心臓病でつらい思いをしているのに、いつも笑顔を活かす、自分の持っているものをさりげなく分け合う。何でもないことのようにですが、結構かっいい母だったなあと、今では思っています。



◎オキシトシンがあふれる世界に

ぼくは、自分のなかにあるみかんを分け合う心を大切にできるようになりました。みかん一個を自分ひとりで食べれば、それはただのみかんですが、分け合ったみかんはみかん以上の意味があると思うのです。

ぼくたちは、人が喜んでくれたとき、オキシトシンという絆ホルモンが作用して、幸せを感じることができます。だから99%は自分のために生きてても、1%はだれかのために心を配りたい。そんな心を多くの人が持てば、ぼくたちの世界はもっと生きやすくなるのではないのでしょうか。

◎ JIM-NET とチョコ募金をよろしく

夏に始まった「Cofee for Peace！」に続き、今年も「チョコ募金」の季節がやってきます。皆さんご存じの通り、六花亭のチョコレートだから、とてもおいしい。仲の良いお友達に、頑張りすぎている人に、チョコ缶をプレゼント！なんて・・・どうでしょう。JIM-NETが支援しているイラクとシリアの子ども達が描いた可愛い絵が缶のフタにほどこされた特別なチョコ募金。1缶550円、4缶一セットで2200円。チョコ募金で集まる温かな気持ちが現地の子ども達への支援につながります。

お友達と「半分このみかん」ならぬ「半分このチョコ缶」なんて洒落ています。



チョコ缶ができるまで

チョコ缶がお手元に届くまでは、六花亭を始め、多くの方々にお力添えいただいております。チョコ缶の製造過程と、発送されるまでの流れをご紹介します。

1. 絵をブリキ板に印刷 (写真①)

1枚のブリキ板に4種類の絵柄を印刷します。

青→赤→黄→黒の順で、見本と合わせ、目視で確認しながら色の濃さを調整し、1色

ずつ丁寧に色を載せます。

印刷する時期は真夏ですが、工場内では印刷した表面にほこりなどの汚れが付かないように、エアコンは少ししか使えません。

2. 丸い形に製缶 (写真②)

製缶工場で、ひとつずつ丁寧に製缶します。ブリキ板を絵柄ごとに1列にカットの後、ひとつずつ丸形のカッターでくり抜きます。くり抜く作業は、足踏みで作業が行われます。その後、機械で缶のふち部分を作ります。

ここで缶のフタが緩すぎず・硬すぎずの微調整をします。

3. 袋詰めと発送作業 (写真③)

ひとつの缶を丁寧に透明の袋に入れた後、4個入りのセットを作ります。きれいなセット作りが難しいのですが、細心の注意と共に作業を進めます。

最後に封筒や箱などに詰めて、寄付者の皆さまに発送されます。



①ブリキ板に絵を印刷



江連印刷・古茂田工業のみなさま



②板を丸く切り抜く作業



佐賀製作所のみなさま

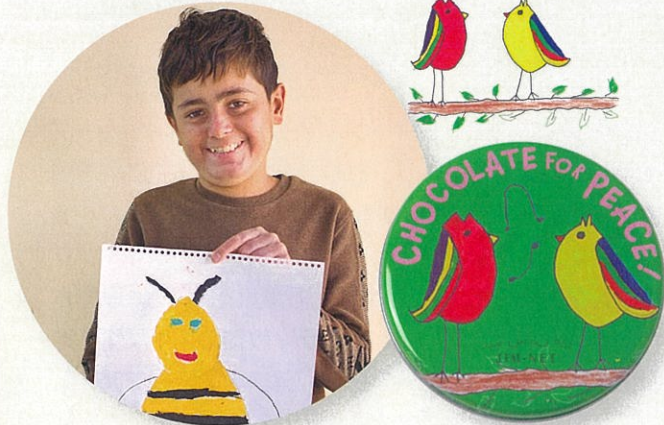


③チョコ缶の袋詰め作業



KFJ多摩はなみずのみなさま

チョコ缶の絵を描いてくれた子どもたち



アナス (15歳) / 急性リンパ性白血病 (ALL)

アナスは、2015年に急性リンパ性白血病 (ALL) の診断を受け、ナナカリ病院で治療を開始しました。投薬治療のみでは治る見込みが少なかったため、お父さんが骨髄ドナーになり、「少しでも助かる見込みがあるなら」とインドに渡航しました。渡航後は、新型コロナウイルス (デルタ株) 流行の真っ最中で、家族は病院からも出られず、とても苦労しましたが、骨髄移植手術は無事に成功しました。その後は投薬治療の副反応が出たりしましたが、今は白血病も寛解し、JIM-NETの院内学級に通っています。彼は絵を描くことが何よりも大好きで、8月にJIM-NETの院内学級を卒業し、9月から地元の公立学校に戻りました。



ホズガ (8歳) / ユーイング肉腫

ホズガは、2020年に腹部の腫れが見つかり、ナナカリ病院でユーイング肉腫の診断を受けました。病院が大嫌いで、通院の度にお母さんにイライラをぶつけていました。ホズガがJIM-NETの院内学級に来た頃は、勉強が苦手でしたが、だんだん勉強が好きになり、今ではクルド語の授業で上位の成績をおさめています。最近、ホズガの体調は芳しくなく、車椅子での生活を余儀なくされています。先日、現地スタッフが彼女の病室を訪問した際に、「早くJIM-NETの院内学級に戻って、たくさん勉強したい!」と話してくれました。ホズガの絵がチョコ缶に選ばれたことを知って目を輝かせて喜んでいました。



エリーン (9歳) / 急性リンパ性白血病 (ALL)

シリア・カミシリ出身のエリーンは、2018年夏に突然脚が痛み出し、さらに発熱したため、病院で血液検査を行い、急性リンパ性白血病 (ALL) と診断を受けました。シリア国内の病院では満足のいく治療を受けられないため、治療のために家族でアルビルへ引っ越してきました。2年間の投薬治療で病状が改善しないため、姉のレンギーンがドナーとなり骨髄移植を行い、その後順調に回復しました。今では友達と一緒に元気に遊んでいます。「英語が一番好き」というだけあり、英語の時間にはとても楽しそうに授業を受けています。エリーンは8月に院内学級を卒業し、9月からはシリア人が通うユニセフの学校に通い始めました。



ムハンマド (8歳) / 急性リンパ性白血病 (ALL)

シリア北西部アフリン出身のムハンマドは、紛争で2015年に家族とともにイラクのクルド自治区へと避難してきました。2017年に体調が悪くなり、急性リンパ性白血病 (ALL) の診断を受けました。治療を始めた頃は、病院に行くことを嫌がり、泣いたり暴れたりすることがありましたが、現在は、治療も無事に終え、経過観察で病院に通っています。JIM-NETの院内学級でも、最初はふざけていることが多かったのですが、先生たちやスタッフが丁寧に接する中で徐々に落ち着き、勉強もよくできるようになりました。ムハンマドは9月からシリア難民が通うユニセフの学校へと編入しました。家族は、ムハンマドが元気すぎて、学校で怪我をしたり、身体に悪いお菓子ばかりを食べるのではと心配しています。



活動紹介



【イラク小児がん支援】

新型コロナウイルスによる制限もなくなり、がんの治療を受ける子どもたちにとっても日常が戻っています。しかしながら、悪化の一途を辿っていた経済状況の中で発生した新型コロナウイルス感染拡大は、失業率の増加や更なる経済の悪化を招き、貧困患者支援の需要は増加しています。昨年度よりも更に



予算を増額し、支援を強化しています。院内学級では、がんの子どもたちがスムーズに学校に戻れるように、先生たちと共にサポートをしています。また、患者家族への心のケアの向上を目指し、今年度は日本から専門家を招聘し、ピア・サポートの体制も強化します。

医薬品は政府から供給が改善されつつありますが、未だ必要とされる医薬品が供給されていません。今年度も引き続き、各病院の状況に応じて、必要な医薬品を迅速に支援できる体制をとり、医薬品支援を継続します。

【難民支援】

イラク国内で5カ所のシリア難民キャンプ及び国内避難民キャンプ、シリア国内（北東部）では4カ所の国内

避難民キャンプを支援しています。

イラク国内では、シリア難民が暮らす難民キャンプで妊産婦ワークショップの開催、無乳糖粉ミルク、おむつ支援や医薬品支援を継続して実施しています。また、今年度からは現地パートナー団体との関係を強化し、ドホーク県の難民キャンプでも支援活動を広げています。過激派組織ISに迫害され、現在も故郷に帰れないヤジディ教徒の人々が住む難民キャンプ内で、避妊具の配布や望まない妊娠を防ぐための活動を含む家族計画支援を行っています。

シリア国内には、現地スタッフがシリアに渡航し、現地の協力団体と連携しながら特に不足している医薬品を届けています。情勢の悪化で避難民が増加していますが、国際機関からの支援も殆どない状況です。キャンプ内での生活も苦しく、できる限り支援を続けていきたいと思えます。



【福島支援】

新型コロナウイルスの影響で、活動が難しく団体が多くありましたが、昨年度は放射能測定、保養活動、定期健康診断を行う団体を支援いたしました。

今年度も公募しておりますが、状況を確認しながら、支援を行ってまいります。

来年3月16日～21日・イラク戦争開戦20年目を迎え、展覧会を開催します

イラク戦争開戦から20年目を迎える節目の年を迎えるにあたり、従来とは異なる場所でイラク戦争を振り返る催しを企画しております。期間は2023年3月16日（木）～21日（火）、イラクの様子を追ってこられている写真家の方々の作品をメインにイラクとシリアの子ども達の絵画、活動写真の展示とトークイベントやワークショップ等も企画中です。かなり広いスペースで6日間の開催ですので、コロナ禍でも安心してご来場頂けるよう準備中です。



一方、例年のチョコ募金キックオフイベントでは、

イラク戦争やチョコ募金をご存じない方々にもJIM-NETの活動を知って頂こうと様々なゲストを迎え、毎回ご好評いただいております。

事務局では、この5月から今年のキックオフイベントと来年の展覧会に関して話し合いを重ねました。その間、新型コロナウイルスが身近に迫ったこともあり、今年のキックオフイベントに注ぐ力を来年の展覧会に集中させることにいたしました。一人でも多くの皆さまと会場でお会いできることを願っております。随時、詳細情報をHP始めSNSでも発信いたしますので、どうぞお楽しみに！

チョコ募金

♥お申込みは11月14日（月）から受付スタート♥

電話：03-6908-8473（平日10時30分～16時）
ホームページ：<http://jim-net.org>

※配送手数料は、別途ご負担をお願いしております。
お申込みの詳細は、同封のチョコ募金チラシをご覧ください。



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

特定非営利活動法人 JIM-NET（ジムネット）

郵便振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット
Facebook、Twitter、Instagramもぜひご覧ください。【JIM-NETで検索】

募金・サポーター会費はこちらへ➡

